

## 平成27年度の取り組み



▲小中合同デカパンリレーのひとこま（5月30日）

## ★第1回小・中合同運動会

5月30日（土）、初めての合同運動会を実施。中学生は良きリーダーとして小学生を気遣い励まし、小学生は中学生の逞しさや優しさに憧れを抱く一貫・連携スタイルの息吹が随所に感じられました。一貫・連携教育の趣旨を踏まえ、保護者の皆様のご意見を参考に、更に次年度への飛躍に生かしていきます。

今年の小・中合同運動会は5月28日（土）小学校グラウンドで開催予定です。ご期待ください。



▲小中合同合唱のひとこま（10月28日）

## ★沼田町一貫・連携教育公開研究大会

10月28日（水）3年間の集大成である公開研究大会を行いました。5つの公開授業と全体会議、記念講演を行い、講師の西川信廣氏（京都産業大学教授）から、「新たなスタートラインに立つ沼田町一貫教育」とエールを頂きました。この経験を糧に、28年度も公開研を計画中です

今年の研究大会は11月11日（金）沼田小・中学校で開催予定です。皆様のご参加をお待ちしています。

## ★その他にも・・・

小学校6年生の中学校登校や中学校教員による小学校への乗り入れ授業、幼稚園児の1日入学、小学生漢字検定補助、中学生英語検定補助、夜高あんどん、部活動の小中合同練習、家庭地域部会による生活リズム改善の取り組み、生徒会・児童会とスマホール作り（家庭地域部会）等、様々な活動が展開されました。



▲外国語活動乗り入れ授業（6月26日）

## 平成28年度の取り組み

## 一貫・連携教育 第2期（H28～30）の取り組み

「沼田っ子の16歳の姿に責任を持つ（基本計画）」ために、沼田町一貫・連携協議会の更なる充実、発展に向け、一貫・連携教育 第2期（H28～30）の取り組みを順次進めていきます。

- (1) 小中9年間を見通した教育課程を整理した上で、系統性を意識した効果的な小中交流授業（乗入れ授業や合同授業等）を展開します。そのために従来の研究組織を4グループから10グループに再編し、こども園・小・中の合同研修会を開催するなど、研修の質を高めます。
- (2) 沼田町の地域性を踏まえた幼小中につながる「沼田ならではの学び」として、①ふるさと沼田学習（沼田学）の実施と②ハローイングリッシュ（ハロイン）の試行を始めます。
- (3) 実践と継続を確かなものにするための体制づくりとして、小中の学園化（平成30年4月開設）を進めます。併せて、地域との連携による“共有”を進めるための体制づくりについても検討します。
- (4) 最終的には国の制度に基づく義務教育学校（小中一貫型等）を目指します。

これらについては、順次実施し、平成30年4月の完全実施を目指します。地域の宝「沼田っ子」のより良い未来のために、町民の皆様のご理解、ご協力をお願いいたします

## 《沼田ならではの新たな教育スタイル》

## 「躍進！」沼田町一貫・連携教育を振り返って

## ★沼田小・中学校が「空知管内教育実践表彰」を受賞！

2月23日（火）空知合同庁舎において空知管内教育実践表彰式が行われ、沼田小学校・中学校の両校が表彰いたしました。この表彰は、昭和42年から毎年、管内で学校教育や社会教育の実践研究活動の実績が顕著な団体や個人が表彰されているもので、今年は4団体、4個人が表彰しました。各学校を代表して元木小学校長と小川中学校長が、多くの教育関係者が見守る中、松山教育局長から教育実践表彰をいただきました。同一市町の小・中ダブル表彰は、この50年の歴史の中でも快挙であり、沼田町の学校・家庭・地域総がかりの一貫・連携教育の成果と受け止めています。これを励みに一貫連携の取組を更に進めて参りたいと思います。



▲空知管内27年度実践4団体・4個人が受賞（2月23日）



▲表彰を受ける元木校長（中央）と小川校長

⑤ 小中一貫教育の推進  
～地域と一体となって  
各学年の学習内容の定着を図る取組～

## 【E町の小中一貫教育】（小1校、中1校）

小・中学校の教員が各教科の系統性について共通理解を深め、各学年の学習内容の確実な定着を図る指導の改善、充実に努めるとともに、小中合同のPTAによる生活リズムの改善に取り組んでいます。



小中のPTAが合同で「時間の目安を決めて子どもの生活リズムを整える！」（道教委）を参考にし、独自の「生活リズムチェックシート」や「モンスタースター攻略ブック」を作成し、年6回活用しています。調査の分析等は、小中のPTAが合同で主体的に行い、子どもの発達段階に応じた生活習慣の確立に役立てています。

授業づくりに当たっては、小中合同の研修を行い、指導方法や基本的な学習内容の連続性について小・中学校の教員で共通理解を深め、中学校教員による小学校の授業への乗り入れなど、各学年の学習内容の定着を図る取組を行っています。



## 〈取組のポイント〉

小中一貫教育を取り入れることにより、教員は指導のプロとして各学年の学習内容を確実に定着させる意識の徹底を図り、保護者には、発達の段階に応じた望ましい生活習慣の確立に向けた意識を高める取組を進めています。

★学力向上の取組み  
小・中とも大幅にアップ！

毎年4月に行われる全国学力・学習状況調査（小学校6年生と中学3年生実施）で、沼田小・中学校ともに全教科（国語A・B、算数・数学A・B、理科）で、初めて全国平均を上回ることができました。この学力向上の成果が、北海道教育委員会ホームページ、NHKニュース、北海道新聞全道版等で大きく報じられました。

これは、沼田の児童生徒の努力はもとより、教職員の指導力、家庭での生活習慣改善の取り組み、教育環境整備等の努力が、子ども達の夢や希望へのモチベーションを後押しした結果と言えます。

平成25年度から3年間の一貫・連携教育の諸所の手ごたえを感じつつ、次年度以降、更に沼田ならではの教育スタイルを追求してまいります。

◀北海道教育委員会 Web「平成27年度全国学力・学習状況調査北海道版結果報告」より抜粋